

防波堤を強靱化し、津波による人命・財産の被害を防止・最小化する

【対策】6 港湾における津波対策

対策概要：3か年緊急対策や最新の津波被害想定等を踏まえた、港湾における「粘り強い構造」を導入した防波堤の整備や、津波避難施設等の設置など、ハード・ソフトを組み合わせた津波対策により、人命・財産の被害を早期に防止・最小化する。

府省庁名：国土交通省

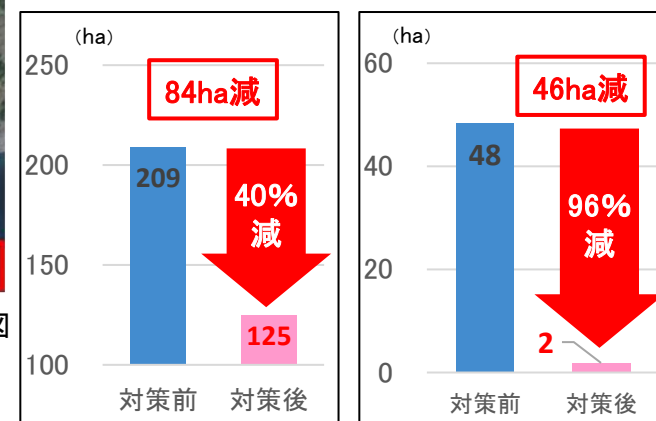
【事例】高知港三里地区国際物流ターミナル整備事業等

- 実施主体：高知県、国土交通省 四国地方整備局
- 実施場所：高知県高知市
- 事業概要：防波堤を整備するとともに、津波襲来時に防波堤の港内側の基礎マウンドが洗掘されることで生じる防波堤の倒壊を防ぐため、高知港の防波堤を粘り強い構造へと改良（石材の追加設置等）する。
- 事業費：約1,630億円※1
（うち5か年加速化対策（加速化・深化分）約36億円）



高知港三重防護の各ラインの位置図
港湾において、第1ラインを整備中

レベル1津波による浸水面積の低減※2



深さ2m以上の浸水面積
(堤内地全域)

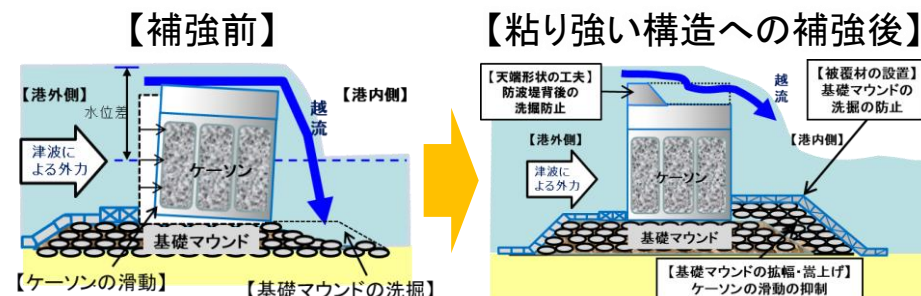
深さ2m以上の浸水面積
(種崎地区)

※2 海岸堤防は整備済と想定

- 効果：防波堤の整備及び津波による防波堤の倒壊を防ぐための改良により、建物の倒壊を引き起こす深さ2m以上の津波の浸水面積が、堤内地全域では84ha（約40%）、津波の到達が早い種崎地区では46ha（約96%）低減されると想定され、背後住民の生命と財産を守ることが可能となる。

また、発災後においても、港内の静穏度が確保されるため、荷役を安全に行え、緊急物資等の輸送拠点としての役割を果たすことが可能となる。

これらの効果の発現のため、引き続き整備を進める。



※1 金額については、第1ラインの整備を含むプロジェクトの事業費の合計であり、津波対策に係る費用はその内数となる。